

第32回民族藝術学会大会プログラム

4月23日 土曜日	10:00~12:00	(理事・評議員のみ)	
	10:30~11:20	理事会	文教育学部2号館110室
	11:20~12:00	評議員会	文教育学部2号館110室
	12:00~	受付開始	共通講義棟2号館201室
	13:00~13:10	開会挨拶	大会実行委員長 永原恵三
	13:10~14:10	基調講演 「美術の移動と『境界上の現象』」	岡田裕成 (美術)
	14:10~14:20	休憩 (10分)	
	14:20~14:50	テーマ関連・ミニコンサート クルグズ (キルギス) の民族音楽	出演: ウメトハエワ・カリマン (東京藝術大学) 井上果歩 (東京藝術大学) 山下正美 (音楽)
	14:50~15:00	休憩 (10分)	
	15:00~16:30	シンポジウム 大会テーマ「文化の移動と越境」 司会永原恵三 (音楽) 「避難と帰還—福島5年間の民俗芸能伝承形態—」 「境界性を生きる—南アフリカ・グリクワの人々の歴史の技法と「越境」—」 「越境する諸民族の音楽—クルグズ(キルギス)の楽器コムズを例に—」	共通講義棟2号館201室 一柳智子 (舞踊) 海野るみ (文化人類学) 山下正美 (音楽)
16:30~17:00	フロア参加者を交えてのディスカッション		
17:00~17:15	休憩 (15分)		
17:15~17:45	総会、木村重信賞民族藝術学会賞授賞式		
18:00~20:00	懇親会	大学食堂「マルシェ」	
4月24日 日曜日	10:00~12:00	一般発表 (分科会1)	共通講義棟2号館101室
	10:00~	「ヨアヒム・ラフの交響曲におけるドイツ民族の表象」	倉脇雅子 (音楽)
	10:30~	「シマノフスキと『古代』—ストラヴィンスキーとの関わりから—」	重川真紀 (音楽)
	11:00~	「イングランドのフォークソング・リヴァイヴァルにおける争点としての〈田舎county〉」	奥坊由起子 (音楽)
	11:30~	「浅草オペラにおける歌劇団と俳優の流動性について」	中津川祥子 (音楽)
	10:00~12:00	一般発表 (分科会2)	共通講義棟2号館201室
	10:00~	「イサム・ノグチのみた日本—作品に現れる「壁」の臨床心理学的解釈の試み—」	尾崎幸恵 (芸術学)
	10:30~	「沖縄の沈殿藍つくりにおける旧法の復活」	盛谷理絵 (芸術学)
	11:00~	「創られたインドネシア現代美術—創出の闘争から現在まで—」	廣田緑 (現代美術、文化人類学)
	11:30~	「障害者の文化芸術へのアクセスについて—芸術表現活動の支援に関する高松市と大阪府の事例から—」	川井田祥子 (文化経済学)
	12:00~13:00	休憩 (60分)	
	13:00~14:30	一般発表	共通講義棟2号館201室
	13:00~	「會津八一の書と活字」	湯浅健次郎 (芸術学)
	13:30~	「書論から書の美学へ」	丸山果織 (芸術学)
	14:00~	「古都の賛美者たち 和辻哲郎と會津八一」	神林亘道 (芸術学)
	14:30~14:45	休憩 (15分)	
	14:45~17:15	一般発表	共通講義棟2号館201室
14:45~	「グアテマラ高地先住民女性の織りと装いに見る異文化受容」	本谷裕子 (文化人類学、民族服飾学)	
15:15~	「ボルネオ島イバンの隠蔽された模様の命名体系pejulukとイコクラスム」	長谷川悟郎 (文化人類学)	
15:45~	「Bon Danceの身体表象—ハワイで踊り継がれる盆踊り」	弓削田綾乃 (舞踊)	
16:15~	「日本初のバレエ教師・振付演出家G.V.ローシー[Giovanni Vittorio Rosi, 1867-?]の視座—ヴァラエティ・シアター (ロンドン) における活動に着目して—」	山田小夜歌 (舞踊)	
16:45~	「植民地期における朝鮮人画家の美術留学—都相鳳 (1902-1977) の東京留学と彼の作品に見られる文化の移動、思想の交流—」	申ミンジョン(朝鮮近代美術史)	
17:20	閉会の辞	共通講義棟2号館201室	